



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社イーグランド  
 コード番号 3294 URL <http://e-grand.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月5日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 江口 久  
 (氏名) 白惣 考史  
 TEL 03-3518-9779

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	14,762	9.5	1,089	81.3	945	108.1	650	111.5
2019年3月期第3四半期	13,481	6.0	600	40.3	454	45.9	307	46.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	103.35	101.76
2019年3月期第3四半期	48.87	48.12

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	19,608	7,187	36.4
2019年3月期	17,879	6,775	37.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 7,141百万円 2019年3月期 6,730百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		19.00		19.00	38.00
2020年3月期		19.00			
2020年3月期(予想)				19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,800	25.4	1,350	49.3	1,060	47.8	725	48.2	115.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	6,362,000 株	2019年3月期	6,362,000 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	66,800 株	2019年3月期	66,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	6,295,200 株	2019年3月期3Q	6,295,200 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因で大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、堅調な雇用や所得環境、各種政策に支えられ、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の先行き、英国のEU離脱、金融資本市場の変動等の影響により、景気の先行きは不透明な状況となっております。

当社が属する中古住宅流通市場におきましては、公益財団法人東日本不動産流通機構（東日本レインズ）によると、首都圏中古マンションの平均成約価格は数年来上昇し続けており、35百万円を越える高い水準となっております。一方で成約件数については、増加傾向（前年同期比）で推移しておりましたが、当第3四半期においては減少に転じております。

このような市場環境の下、当社の主たる事業である中古住宅再生事業におきましては、競合の増加、価格の高騰等が依然として続く中、利益率の確保に重点をおいて物件の仕入を厳選する方針を採っております。当第3四半期累計期間における居住用物件の仕入件数は、横浜支店と関西支店における仕入が順調であったことから、前年同四半期累計期間の678件から714件（前年同四半期比5.3%増）となりました。

販売につきましては、横浜支店を中心に全社的に販売件数が伸び、当第3四半期累計期間における居住用物件の販売件数は、前年同四半期累計期間の607件から660件（前年同四半期比8.7%増）となりました。

利益面につきましては、利益率の高い収益用一棟マンション3棟の売却により、売上総利益率は前事業年度の15.3%から17.7%となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は14,762百万円（前年同四半期比9.5%増）、営業利益は1,089百万円（同81.3%増）、経常利益は945百万円（同108.1%増）、四半期純利益は650百万円（同111.5%増）となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

#### <中古住宅再生事業>

中古住宅再生事業におきましては、居住用物件の販売による売上が13,000百万円、収益用物件の販売による売上が4件（収益用一棟マンション3棟、区分1戸）1,449百万円となり、物件販売による売上高は14,449百万円となりました。また、収益用物件の保有期間中の賃貸収入が154百万円となりました。その結果、当第3四半期累計期間における中古住宅再生事業の売上高は14,631百万円（前年同四半期比10.1%増）となりました。

#### <その他不動産事業>

その他不動産事業におきましては、賃貸用不動産の賃貸収入等によって当第3四半期累計期間における売上高は131百万円（前年同四半期比30.0%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における流動資産は、17,294百万円となり、前事業年度末の15,994百万円から1,299百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が811百万円、販売用不動産が1,299百万円増加した一方で、仕掛販売用不動産が769百万円減少したことによります。

当第3四半期会計期間末における固定資産は、2,314百万円となり、前事業年度末の1,885百万円から428百万円の増加となりました。これは主に、有形固定資産が414百万円増加したことによります。

当第3四半期会計期間末における流動負債は、9,112百万円となり、前事業年度末の7,634百万円から1,478百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金が999百万円、1年内返済予定の長期借入金が288百万円増加したことによります。

当第3四半期会計期間末における固定負債は、3,308百万円となり、前事業年度末の3,469百万円から161百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金が81百万円増加した一方で、社債が242百万円減少したことによります。

当第3四半期会計期間末における純資産は、7,187百万円となり、前事業年度末の6,775百万円から411百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が411百万円増加したことによります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度（2020年3月期）の通期業績予想につきましては、2019年5月10日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,447,642	4,258,811
販売用不動産	8,365,198	9,665,138
仕掛販売用不動産	3,819,396	3,050,359
貯蔵品	914	999
その他	361,518	319,013
貸倒引当金	△1	-
流動資産合計	15,994,668	17,294,322
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	1,728,178	2,143,114
有形固定資産合計	1,728,178	2,143,114
無形固定資産	7,161	5,327
投資その他の資産		
その他	150,224	166,111
貸倒引当金	△338	△359
投資その他の資産合計	149,886	165,751
固定資産合計	1,885,227	2,314,193
資産合計	17,879,895	19,608,516
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	334,097	341,184
短期借入金	6,363,070	7,363,011
1年内償還予定の社債	44,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	634,688	923,644
賞与引当金	-	89,452
未払法人税等	46,701	211,720
完成工事補償引当金	12,003	12,842
その他	199,759	151,062
流動負債合計	7,634,319	9,112,918
固定負債		
社債	1,272,000	1,030,000
長期借入金	2,088,084	2,170,002
役員退職慰労引当金	66,893	66,893
その他	42,684	41,366
固定負債合計	3,469,662	3,308,262
負債合計	11,103,981	12,421,180

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	832,495	832,495
資本剰余金	813,417	813,417
利益剰余金	5,130,180	5,541,603
自己株式	△46,042	△46,042
株主資本合計	6,730,051	7,141,473
新株予約権	45,862	45,862
純資産合計	6,775,913	7,187,336
負債純資産合計	17,879,895	19,608,516

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	13,481,067	14,762,749
売上原価	11,476,079	12,154,822
売上総利益	2,004,987	2,607,927
販売費及び一般管理費	1,404,015	1,518,208
営業利益	600,971	1,089,719
営業外収益		
受取利息	82	75
受取配当金	1,251	1,151
契約収入	1,800	13,450
受取保険金	6,426	31
その他	228	825
営業外収益合計	9,788	15,533
営業外費用		
支払利息	107,853	113,092
支払手数料	47,554	46,482
その他	960	208
営業外費用合計	156,368	159,784
経常利益	454,391	945,469
特別損失		
固定資産除却損	1,912	-
特別損失合計	1,912	-
税引前四半期純利益	452,479	945,469
法人税、住民税及び事業税	131,997	309,875
法人税等調整額	12,819	△15,046
法人税等合計	144,817	294,829
四半期純利益	307,662	650,639

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

当社は不動産事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

当社は不動産事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。